

令和7年度
第7次杉戸町行政改革大綱重点改革項目
実施計画事務事業評価に関する意見書



令和7年8月



杉戸町行政改革推進会議

— 目 次 —

1	はじめに	1
2	第7次杉戸町行政改革大綱重点改革項目実施計画について	2
3	外部評価について	2
	（1）外部評価事業の選定について	2
	（2）事業の評価結果について	3
4	おわりに	6

第7次杉戸町行政改革大綱では、今後の少子化対策や高齢者対策など、社会保障関連経費の増大や新たなニーズへの対応を図っていくための基盤として、「効果的・効率的な行政運営の推進」、「健全な財政基盤の確立」、「職員の資質向上・効果的な組織の実現」、「アセットマネジメントの推進」、「情報通信技術（ICT）の活用」を推進項目とし、質の高い行政運営を実現していくため、行政改革を推進している。

しかしながら、人口減少や、少子高齢化の進展に伴う人口構造の変化など、社会の変化が急速に進み、社会保障関連経費の増加や公共施設の老朽化など、早急に解決しなければならない課題も多く残されている。

これらの課題に対し、効果的・効率的な行政運営の推進を図るためには、プロセスや手続きの見直しを行い、収支のバランスを取りながら効果的な施策の実施を図っていくことが求められる。

また、時代に応じたデジタル化やオンラインサービスの充実を図るなど、行政サービスの効率化を進めることで、町民にとってより使いやすく、身近なものにする取り組みが必要となる。

そのため、行政内部の評価に留まることなく、住民の視点で評価を行い、より効果的な事業へとつなげてほしい。

この意見書には、事業の評価結果のほか、各委員の意見が記載されていることから、町長をはじめ、町職員の全員が真摯に受け止め、今後の行財政運営や行政改革に十分に生かしていただくことを期待するものである。

杉戸町行政改革推進会議
委員長 鈴木 勲

2 第7次杉戸町行政改革大綱重点改革項目実施計画について

第7次杉戸町行政改革大綱重点改革項目実施計画では、第6次杉戸町行政改革大綱の行政改革の成果を踏まえ、令和3年度から令和7年度までの5年間において、「効果的・効率的な行政運営の推進」、「健全な財政基盤の確立」、「職員の資質向上・効果的な組織の実現」、「アセットマネジメントの推進」、「情報通信技術（ICT）の活用」を推進項目とし、26の重点改革項目を掲げ、引き続き行政改革を進めている。

令和7年度は、昨年度に実施した事務事業のうちの1事業について、行政改革推進会議による外部評価を行った。

3 外部評価について

（1）外部評価事業の選定について

外部評価は、第7次杉戸町行政改革大綱重点改革項目実施計画に掲げた26項目の事業において、外部の視点で改革の方向性を議論することが有意義と考えられる以下の項目について、評価を行った。

推進項目	重点改革項目	担当課	頁
3 職員の資質向上・効果的な組織の実現	21 教職員の資質・能力の向上	学校教育課	3

(2) 事業の評価結果について

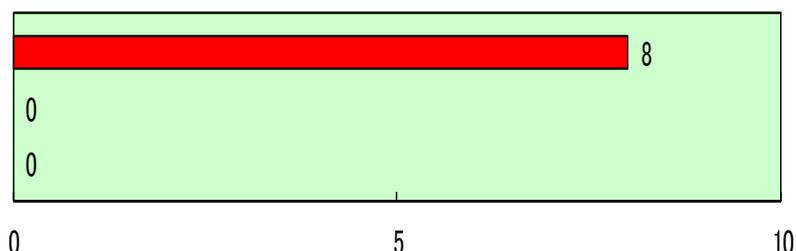
対象事業「教職員の資質・能力の向上」

推進項目3 職員の資質向上・効果的な組織の実現						
No	21	重点改革項目	教職員の資質・能力の向上			
担当部署	学校教育課		関係課			
現状と課題	子供たちに係るいじめや不登校、教職員の年齢構成の不均衡や長時間勤務等、様々な教育課題が山積している中、子供たちに確かな学力と変化の激しい社会を生き抜く力、豊かな心と健やかな体を育成するためには、教職員の実践的指導力を伸ばし、教職員の資質・能力を向上させるとともに、働き方改革を推進していくことが必要です。					
取組内容	教職員の資質・能力を向上させるため、時代の変化に対応した研修会を実施します。また、教職員が元気で生き生きと子どもたちの指導に専念できるように働き方改革を推進します。					
年次計画	項目	R3	R4	R5	R6	R7
	教職員研修の実施	実施				
	働き方改革の推進	実施				
目標	教職員研修の実施と働き方改革の推進					
	現状(R1)	R3	R4	R5	R6	R7
	—	—	—	—	—	—

実績	年度	目標に対する実績	評価	当年度の実績、今後の予定
	R3	—	a	ステップアップ研修をはじめ、資質向上研修などを受講することにより、担当業務遂行能力や授業力を高め、自己の教師力に磨きをかけることができた。また、ICT教育を活用し働き方改革に努めた。
	R4	—	a	オンライン研修を効果的、効率的に組み合わせ、研修を実施し、個別最適な学びと協働的な学びの視点での授業改善を図った。また、ICTの活用や退勤時間の意識改革などにより、業務の効率化に努めた。引き続き、時代の変化に対応した研修会を実施し、子どもたちの指導に専念できるよう働き方改革を推進していく。
	R5	—	a	各校の実践に加え、働き方改革推進のために資料送付、各校の実践発表、定時退勤ウィーク等を実践した。11月の勤務時間調査では、時間外在校等時間が45時間を超える教職員は小学校で4.7%、中学校で20.5%(部活動含)となり、80時間を超える教職員は小・中ともに0%である。この数値は県内の各市町村と比べても少なく、働き方改革が進んでいるといえる。令和5年度に導入したメール配信システムをはじめ、令和6年度に導入予定の採点システム(中学校)を活用し、更なる改革を進めていく。
	R6	—	a	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を目指し、教職員研修を推進している。年次研修での研究授業の実施や県・町の研修事業を活用することで、教職員の資質・能力の向上に努めることができた。また、働き方改革推進のために各校の実践に加え、資料送付、各校の実践発表、定時退勤ウィーク等を実践した。11月の勤務時間調査では、時間外在校等時間が45時間を超える教職員は小学校で5.7%、中学校で8.1%(部活動含)となり、80時間を超える教職員は小・中ともに0%である。この数値は県内の各市町村と比べても少なく、働き方改革が進んでいるといえる。メール配信システムや採点システムも導入し、働き方改革の一助となっている。

□ 改革に対する成果

- ①一定の成果が出ていると感じる
- ②今の改革方針を継続していく必要がある
- ③改革方針の見直しや修正が必要である



□ 委員からの意見

(1) 上記の理由

【① 改革方針に基づく、一定の成果が出ていると感じる。】

- 各種研修や働き方改革推進、メール配信や採点システムの導入を通じて、教職員の資質・能力向上への取組が確実に実施されていると感じた。
- 働き方改革が進み、教職員に時間的・心理的な余裕が生まれ、生徒や家庭との対話の時間及び授業準備の時間を増加させることができているため。
- 年次研修などの研修がしっかりと実施されており、また、時間外在校等時間も改善されており、一定の成果が出ていると感じる。
- 研修により教職員の資質・能力の向上に努めることができ、働き方改革の推進のために各校が実践したことを評価できると思う。
- ICT の活用や各種段階的な研修の活用により、改革目標に基づく働き方、資質・能力向上策の前進を感じるため。
- 特にいじめの解消率に関して、杉戸町は全国や県を上回り、中学校では 100% の解消率になっている。
- 働き方改革については、積極的な取組が見られる。
- 教職員の資質・能力を実際に見ているわけではないが、県や町で行われている研修を体系的に実施していること、また、働き方改革も推進していることを鑑みると、一定の成果が出ているのではないかと思われる。
- 勤務時間を意識した業務遂行により、効率化が図られている。これにより時間に追われることもなく、心にゆとりを持って児童と向き合う時間を確保できるようになり、教育の質の向上にも繋がる、有益な取組であると思う。

(2) 現状の課題、問題点、解決策等

- 実行した施策の成果として、児童、生徒、保護者からの評価や意見を分析して、さらなる改善に取り組んでいただきたいと思う。
- 学校ごとの個性や特徴（例えば環境教育、生物多様性に関する授業など）をアピールできると良いと思う。
- 教職員のパフォーマンスを上げるために、時間的・心理的余力が必要なことは言うまでもないが、教職員の働き甲斐について考えると（捻出できた時間を使って、もっとやりたい、という気持ち）県や町教育委員会と学校、教職員との構造的な課題があるように感じる。法令によるものなので難しいとは思いますが、

だからといって放置することなく、問題点を突き詰めて考え、町の中でできることを実行できるとよい。

- 不登校の生徒数を全国平均以下となるように教職員の対応を引き続き行っていただきたい。
- 研修したことの成果と課題を把握し、学び続けることにより、適切な指導や授業内容の充実につなげていくことを希望する。
- 「教職員の資質・能力の向上」において、町は小中学校の教職員の採用や異動といった人事に直接関与できない。そのため、これまでの改革で得られた成果や現場のノウハウを、どのようにして後任へ引き継ぎ、維持していくかが今後の課題となる。この課題解決に向けて、優れた働き方を現場で共有する仕組みや、熱心に研修を積んだ経験者を指導役として位置づけるといった、新たな資質・能力向上策を検討すべきだと思う。
- 教職員の勤務については、さらなる負担軽減に努めて欲しい。
- 不登校の解消を図ることが必要である。
- 中学校の部活動を担当する教職員の勤務時間は、どうしても長くなってしまおうと思う。外部への委託も考えてフォローするべきだと思う。

4 おわりに

今回、意見書の作成にあたり、委員の持つ豊富な知識や経験を生かし、町の現状や課題についての評価を行えたことは、我々委員にとって貴重な体験となった。

町では、今後も社会保障関連経費の増加とともに、老朽化した公共施設等への対策など、多くの財政支出が見込まれるところであるが、町長をはじめ、職員が一丸となって、更なる改革の推進に取り組んでいただき、財源の確保や適正な事業の実施に努めていただきたい。

結びに、この意見書が今後の行政改革の推進及びより良いまちづくりの一助となれば幸いである。

杉戸町行政改革推進会議委員名簿

1号委員（知識及び経験を有する者）4名（敬称略）

No	氏名	備考
1	鈴木 勲	委員長
2	佐藤 敏行	副委員長
3	広田 健司	
4	小野寺 あゆみ	

2号委員（町内各種団体を代表する者）3名

No	氏名	備考
5	高野 清美	
6	伊藤 美佐子	
7	佐瀬 力	

3号委員（杉戸町在住又は在勤の者）2名（公募）

No	氏名	備考
8	黒岩 政夫	
9	吉倉 信広	

